



益城中学校だより

第4号

R5. 10. 23

<https://jh.higo.ed.jp/mashiki>

FROM 益城中

学校評価の結果をお知らせします。

9月に実施した学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今回の便りでは、その結果をお知らせします。

なお、申し訳ないことに、アンケートの実施が例年より遅れてしまい9月中に紹介できませんでしたので、10月号でのお知らせとさせていただきます。

今回の便りの内容は、9月に掲載予定であった学校評価アンケートの結果と全国学力学習状況調査の結果（概要）です。

学校評価とは？

そもそも、学校評価は何のために実施しているのかを改めて言いますと、次のとおりです。

学校は、教育目標を実現するために、様々な取組を計画し実施しています。その達成状況を把握するとともに、取組内容が適切か否か等についても評価し、改善を図るためです。

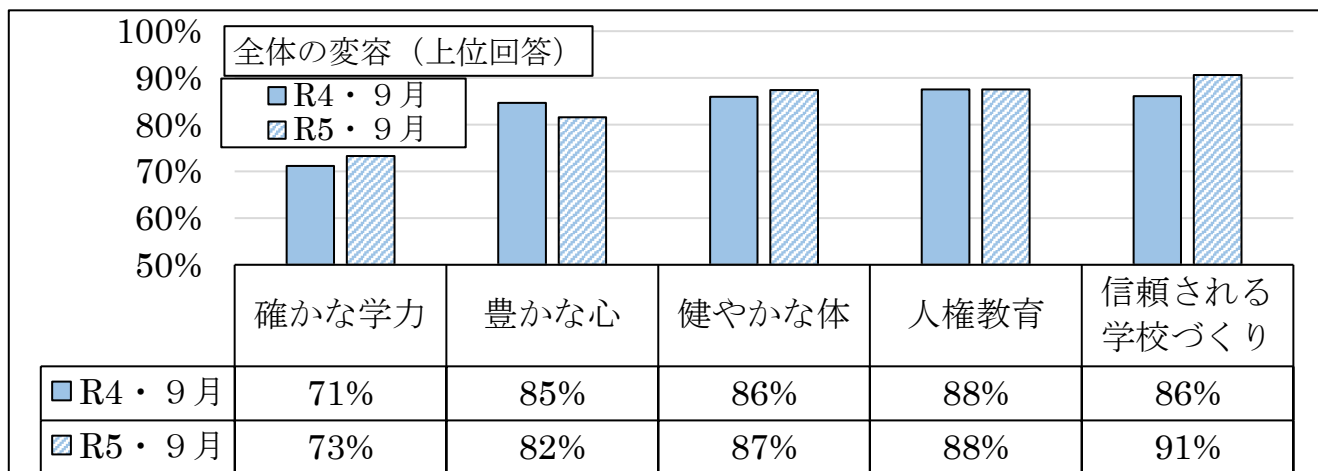
また、学校が行う自己評価だけではなく、生徒や保護者等による評価を行うことで、より正確な評価を行うことができます。

本年度の上期（9月まで）の結果を基に、10月からの取組を計画・実施することで、教育内容の改善と充実につなげていきます。

本年度の結果を概観すると・・・

本年度は、前年度の同時期の結果を目標値にして取り組んでいます。そこで、昨年度の同時期に実施した学校評価の結果との比較を下のグラフに示してみました。

当然、目標値（昨年度の値）を超えることを目指していますが、どんなに結果が悪くても前年度の同時期と同じ値までに留めるようにしたいと考え、取り組んでいます。



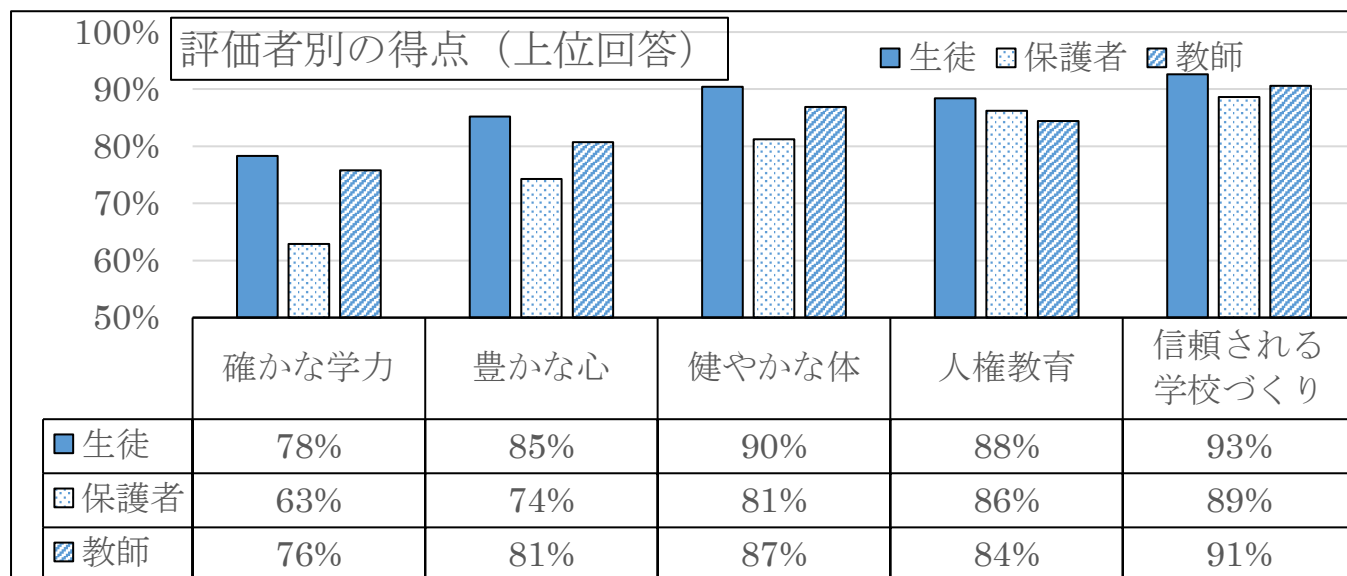
生徒及び保護者、学校の職員の評価を一つにまとめ、5つの項目別に表示してみました。それぞれ2～3%の増減はあるものの、昨年度とほぼ同じ値になっています。「信頼される学校づくり」が若干増加しているのは、コロナ禍が過ぎ保護者の皆様の学校来校の機会が増えたことと、本年度はホームページを頻繁に更新したからだと考えます。

評価者別に見ると・・・

三者（生徒、保護者、学校の職員）の評価を評価者別に見てみます。下のグラフのように、生徒の評価が高く保護者の評価が低くなるのは例年の傾向です。毎年、保護者の評価も真摯に受け止め対応してきましたが、今後も、「確かな学力」や「豊かな心」等の保護者の評価を高めていきたいと思います。

なお、保護者の立場からすれば、授業参観か学校行事の際にしか来校の機会がないのではっきり評価できない項目も多いという声をよく聞きます。次回の学校評価アンケートからは、「無答」や「わからない」の項目も設け、正確な実態把握に努めたいと思います。

また、三者（生徒、保護者、学校の職員）の数がそれぞれ違いますので、次のグラフの三者の評価を足して割っても、先ほどのグラフの数値にはなりません。

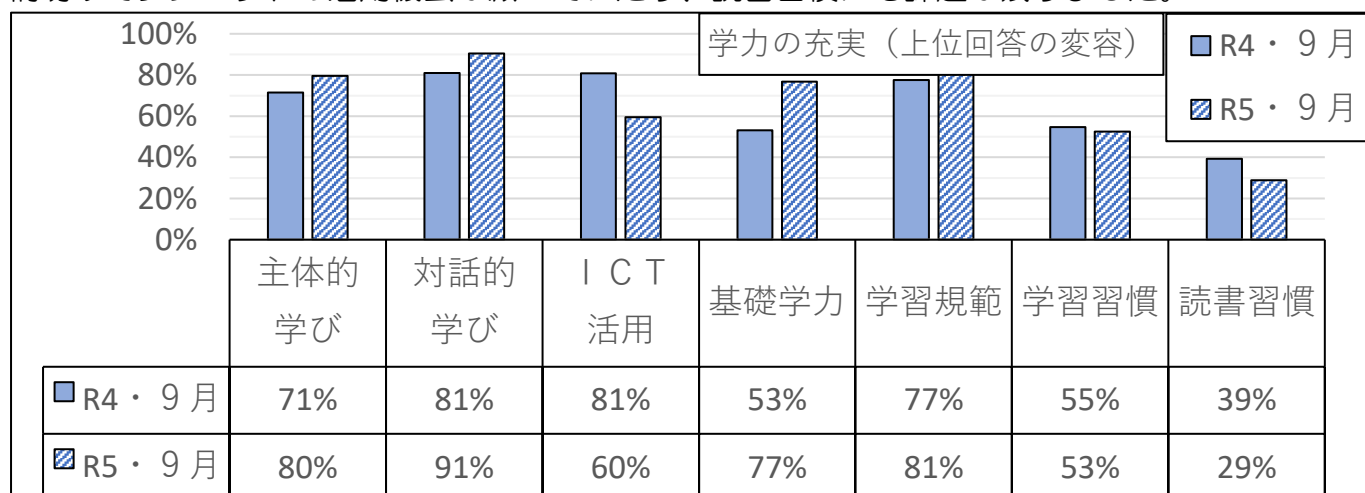


項目毎に見てみると・・・（知）（徳）（体）別に

① 「確かな学力」（知）

本年度、「主体的な学び」や「対話的な学び」、「基礎学力」に関する項目が昨年度に比較して伸びました。これは、本校が現在、学力向上の研究に取り組んでおり、授業を工夫することに努めてきた成果と考えます。特に、生徒の評価だけに注目してみると、「主体的に学習に参加できている」と答えた生徒は93%で、「対話等で学びが深まった」と回答した生徒が95%と、高い数値になっています。

一方、取り組んだはずの「家庭での学習習慣の定着」に伸びは見られませんでした。また、コロナ禍明けでタブレットの活用機会が減っていたり、読書習慣にも課題が残りました。

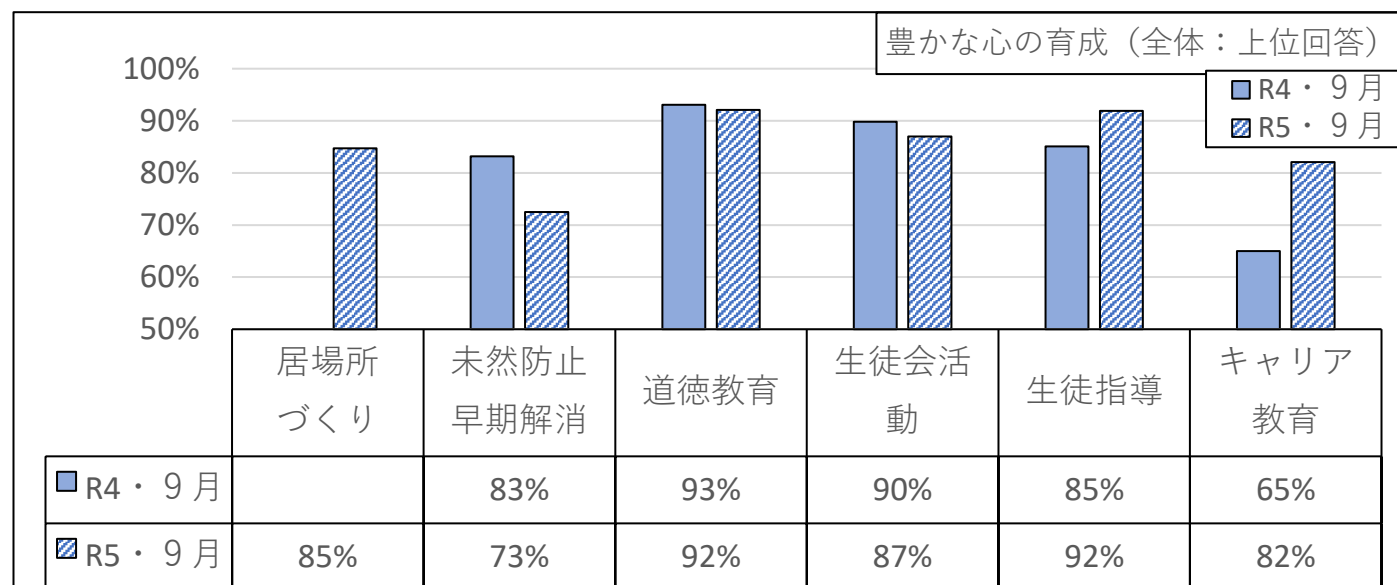


② 「豊かな心」（徳）

本年度、特に重点的に取り組んだ「生徒指導」や「キャリア教育」といった項目には、伸びが見られます。

しかし、不登校の生徒が増えている現状を踏まえ、その未然防止や早期解消の面では評価が低くなっています。現在、新たな対応策も講じており、1人でも多く不登校の生徒を減らせるようにしていきたいと考えます。

また、「心の居場所づくり」については、本年度から質問の内容を変えたので、昨年度と比較ができませんでした。

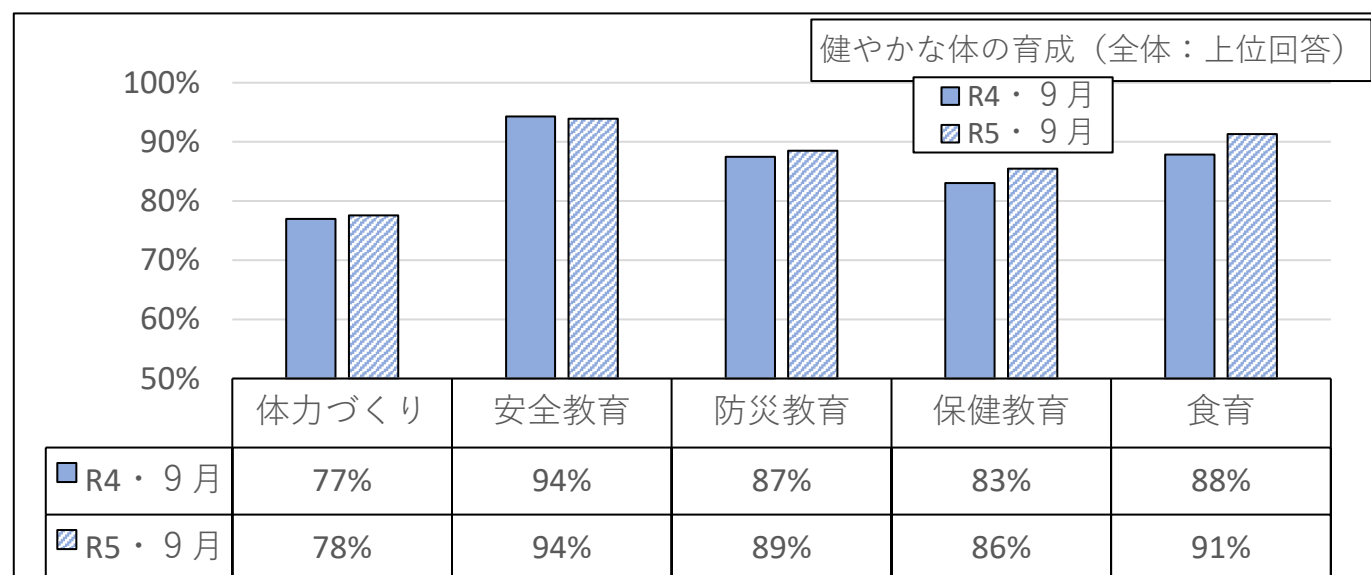


③ 「健やかな体」（体）

最後に、知徳体の体（健やかな体）に関してです。

この項目は、いずれも2～3%の増減はありますが、あまり大きな変化は見られませんでした。

コロナ禍と相まって、近年は体力が下降傾向にありました。しかし、コロナ禍明けの本年度からは、体力が向上してきていますので、他の項目と共に、下期でも目標値（昨年度の値）が超えられるようにしていきます。



なお、学校評価アンケートの結果について、学校では詳細な分析を行っています。その分析を下期（10月～）の教育活動に生かしていきます。ご協力ありがとうございました。

全国学力学習状況調査の結果（概要）から



- ・ 本校平均は全校平均とほぼ同様
- ・ 人間関係は良好だが 家庭学習に課題

全国学力学習状況調査は、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析することで、これまで実施してきた施策の成果と課題を検証し、必要に応じて改善を図るものです。中学校では、3年生のみを対象に、国語、数学、英語の3教科が4月18日（火）に実施され、夏休み中に結果が分かりました。個人の結果は、2学期が始まってから配布しています。

本校の学力調査の結果を全国平均と比較してみますと、国語、数学、英語の3教科ともに、全国平均にほぼ近い値でした。

本調査は、学習内容の定着状況をみるだけでなく、質問紙をとおして学習状況等も把握し、改善に役立てるようになっていきます。

質問紙調査の結果、本校3年生の傾向としては、人間関係を表す数値に良い傾向がみられました。生徒間や生徒と教師間に望ましい関係が築かれており、そのことが学習上にも役立っていると言えます。

逆に、特に値が低かったのは、家庭学習に関することです。家庭での学習時間や計画性には課題が残りました。学習はしているものの、塾頼みになっている生徒が多い傾向にあるという結果でした。

【10下旬～11月の行事予定】

月 日	曜	行 事	月 日	曜	行 事
10 / 20 ～24	金 火	上級学校説明会（3年生） (23日は2年生も参加)	11 / 14	火	進路保護者会(3年生)
10 / 24 ～25	火 水	共通テスト（3年生）	15 ～16	水 木	期末テスト(1・2年生) (*15日は学校に行こうデー)
11 / 1	水	生徒会専門委員会 スクールコンサート	20	月	生徒会役員選挙・立会演説会
2	木	生徒集会 県中学駅伝大会推戴式	21	火	会議のため5時間授業
6 ～7	月 火	期末テスト（3年生）	22	水	研修のため4時間授業 (一部の学級のみ5時間)
8	水	研修のため3時間授業 (一部の学級のみ4時間)	27 ～	月	三者面談(3年生) 教育相談(1・2年生)
9 ～10	木 金	県中学駅伝大会 (9日は開会式のみ)	※ あくまでも予定です。 諸事情により中止や変更もあります。		